

○道路施設の現況と老朽化対策の必要性を広く国民の皆様にご理解していただくことを目的として、各種行事にあわせた広報パネル展や見学会・体験講習会等を実施

- パネル展示は、多様・多数の国民向けの効果的な広報
- 多様な公共施設へ展開を拡大し、老朽化対策についての理解を促進
- 今後は地域や身近なインフラに関する情報を地域に伝えることが重要

イベント名(開催場所)	実施月日	内容
道の駅「わしま」	4月28日～5月23日	パネルを展示し、来場者にPR
姫川・関川総合水防演習	5月21日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「みつまた」	5月23日～6月27日	パネルを展示し、来場者にPR
国道8号池之島高架橋、長岡高架橋、国道17号十日町高架橋	6月22日	補修工事の見学会
道の駅「あらい」	6月24日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「パティオにいがた」	7月1～11日	パネルを展示し、来場者にPR
萬代橋清掃イベント	7月7日	重要文化財「萬代橋」の清掃
国道17号神立除雪ステーション 道路情報ターミナルみちしるべ湯沢	7月14日～8月17日	パネルを展示し、来場者にPR
上越まつり	7月25日	パネルを展示し、来場者にPR
常設 新潟国道事務所1階 事業広報室	8月1日～3月31日	パネルを展示し、来場者にPR
萬代橋130周年事業	8月4日～11月12日	初代「萬代橋」架橋から130年 フォトコンテスト・パネル展・シンポジウムを開催 パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「神林」 「朝日」	8月5日～9月30日	パネルを展示し、来場者にPR
新潟まつり お祭り広場	8月6日～7日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「南魚沼 ゆきあかり」	8月18～29日	パネルを展示し、来場者にPR
地方整備局見学会	8月19日	パネルを展示し、来場者にPR
萬代橋誕生祭【国道7号萬代橋】	8月20日	「萬代橋」の87歳を祝うまつり パネルを展示し、来場者にPR
国道8号長岡大橋、国道8号笠島トンネル	8月23日	橋梁とトンネルの点検体験講習会
道の駅「みつまた」	8月29日～10月3日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「豊栄」「加治川」「みかわ」「関川」「阿賀の里」「胎内」「花夢里にいつ」「国上」「燕三条地場産センター」「新潟ふるさと村」	9月1日～10月31日	パネルを展示し、来場者にPR
長岡市民センター	9月13～26日	パネルを展示し、来場者にPR
国道17号湯沢跨水橋、小黒橋	9月28日	補修工事の見学会、座学
十日町産業フェスタ土木の日 クロス10十日町キナーレ	10月15～16日	パネルを展示し、来場者にPR
土木フェスティバル 越後丘陵公園	10月16日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「わしま」	10月21日～11月11日	パネルを展示し、来場者にPR
除雪出動式 新潟西除雪ステーション	11月1日	パネルを展示し、来場者にPR
国道8号稲葉川橋	11月10日	補修工事の見学会
道の駅「みつまた」	11月11日～12月8日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「南魚沼 ゆきあかり」	12月8～26日	パネルを展示し、来場者にPR
橋梁架設工事 現場見学会 国道8号 歌高架橋	12月10日	架替工事現場の体験会 パネルを展示し、来場者にPR
国道17号神立除雪ステーション 道路情報ターミナルみちしるべ湯沢	12月26日～1月10日	パネルを展示し、来場者にPR
長岡市民センター	1月4～10日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「わしま」	1月10日～2月21日	パネルを展示し、来場者にPR
道の駅「パティオにいがた」	2月21日～3月7日	パネルを展示し、来場者にPR



萬代橋誕生祭(8月20日)



補修工事の見学会(11月10日)

広報活動「道路の老朽化対策」パネル展示(富山県)

道路施設の現況や老朽化対策の必要性、課題、メンテナンス時代に向けた取組みを広く紹介するため、パネルを作成し、道の駅などに展示しています。

また国道41号の笹津橋が本年喜寿を迎えることから、永く大事に使うことの大切さを伝えています。

実施日	イベント	開催場所
平成28年7月9日	らっきょう掘りまつり	細入村
平成28年8月20・21日	ヘルフェス	クロスランドおやべ
平成28年11月6日	細入まつり	細入村
平成28年8月	パネル展	メルヘンおやべ
平成28年10月	パネル展	万葉の里高岡
平成28年12月	パネル展	カモンパーク新湊
平成29年2月	パネル展	細入飛驒ふれあいの里



道の駅「高岡」(老朽化)



細入まつり 11月6日(長寿橋梁＋老朽化)

広報活動「道路の老朽化対策」パネル展示(石川県)

道路施設の現況や老朽化対策の必要性、課題、メンテナンス時代に向けた取組みを広く紹介するため、パネルを作成し、道の駅などに展示しています。

実施日	行 事	展示会場
H28.8.13	2016 金沢ゆめ街道	片町ゾーン (金沢市片町)
H28.9.4	石川県防災 総合訓練	能登歴史公園 (七尾市千野)
H28.9.9	犀川大橋 花苗植え込み	犀川大橋 (金沢市片町)
H28.9.16	サイガワ あかりテラス	犀川大橋上流 (金沢市片町)
H28.11.2	除雪出動式	金沢除雪ステーション (金沢市南新保町)
H28.6～ H29.3	パネル展示	庁舎内 (1F広報エリア、4F廊下)
H29.1～ H29.3	パネル展示	石川県内全ての道の駅



老朽化広報の取り組み ベストプラクティス(国道7号 萬代橋)

○地域から親しまれている萬代橋においては、地域住民や近隣の学校等と一体となった取り組みが定着しており、長く大切に使うことの重要性を伝える。

萬代橋チューリップフェスティバル
昭和61年から実施
(平成28年4月14日)



園児たちのパレード

萬代橋みがき
平成20年から実施
(平成28年7月7日)



万代長嶺小学校の児童とともに
清掃活動を実施

萬代橋誕生祭
平成15年から実施
(平成28年8月20日)



萬代橋歴史パネルと模型展示

取り組みまでの流れ、しかけづくり

【萬代橋チューリップフェスティバル】

○チューリップは歩車道境界に設置するので安全性を考慮して背が高くない品種を選定するとともに、花の色を変えるなどマンネリ化を防いでいる。なお、新潟市から八千代幼稚園に参加を依頼するとともにほかの幼稚園にも開催案内チラシを配布している。気候が良く散歩に適している時期であることや、春の行事として定着していることから、多くの幼稚園が参加している。

【萬代橋みがき】

○学校・地域住民との調整により、万代長峰小学校の定例行事として定着している。清掃活動とあわせて萬代橋の歴史や橋の役割について学習をしてもらい、老朽化対策の必要性を説明している。

【萬代橋誕生祭】

○「萬代橋誕生祭」実行委員会をたちあげ、3月頃から全体運営について会議を開催。

老朽化広報の取り組み ベストプラクティス(国道7号 萬代橋)

○萬代橋130周年事業

平成28年は、初代萬代橋架橋から130年となるが、萬代橋が果たしてきた役割とストック効果を説明し社会資本整備の必要性や維持管理の重要性等を理解していただくとともに、萬代橋の担ってきた役割を再認識していただき、若い世代を含めた全世代がこれからの地域の発展やまちづくりについて考える契機となるような事業を展開

○萬代橋130周年フォトコンテスト	8月4日(木)～10月7日(金)	
○萬代橋130周年パネル展	8月9日(火)～8月31日(水)	場所:メディアシップ
○萬代橋誕生祭パネル展示(関連事業)	8月20日(土)	場所:萬代橋周辺
○萬代橋130周年シンポジウム	11月12日(土)	場所:メディアシップ



シンポジウム



パネル展

取り組みまでの流れ、しかけづくり

○8月3日に萬代橋130周年事業実行委員会(国、県、市、新潟日報)を開催。一連の事業の確認を行った。
○若者の参加、地域住民の参加を多く迎えるため、フォトコンテストでは学生部門を設定し、Instagramによる募集を行うなど若い人が参加しやすいフォトコンテストを目指した。シンポジウムでは、パネリストとして新潟芸妓に参加を依頼したり、地域活動団体による新潟の芸能文化「万代太鼓」の演奏など、萬代橋と地域の関わりに着目した取り組みを実施。

老朽化広報の取り組み ベストプラクティス(国道157号 犀川大橋)

○大正13年に架橋し、今年で92歳を迎えた犀川大橋において、地域と連携した取り組みを行うことにより、地域の魅力・賑わい創出を支援しつつ、長寿命橋梁としてのPRと老朽化対策の必要性を伝える。

敬老の日
(平成28年9月9日)



官民共同で犀川大橋の歩道上に
花(りんどう)を植え込み

サイガワあかりテラス
(平成28年9月16日～18日)



地域イベントと連携した
ライトアップ



イベントでは長寿命橋梁のPRや
犀川大橋歴史のパネルを展示

片町イルミネーション2016
(平成28年11月4日～)



商業施設(片町きらら)オーロラビジョン
にて犀川大橋のPRを実施

取り組みまでの流れ、しかけづくり

○地域団体の「金沢片町まちづくり会議」が主体となって実施。道路協力団体に指定して、取り組みを継続していくための支援をしている。(平成28年12月28日指定済)

好事例 橋梁維持管理に関する他機関との連携（富山市）

国立研究開発法人土木研究所と富山市が締結した 「橋梁の維持管理に関する研究協力協定」のその後について

- 平成28年9月に、「五福4号橋」の老朽化桁を撤去し、つくば土木研究所に搬入
- 平成29年度に、本桁の破壊試験を行いモニタリング・データとの検証を行う
- 現在、破壊試験の準備中である（4月以降に実施予定）



土木研究所内（つくば）に仮置き中の「五福4号橋」



土木研究所の300N（3000T）載荷試験機

平成28年度の研修・講習会

①道路構造物管理実務者研修※【実施】

対 象:地方公共団体職員及び直轄職員

講 師:国土技術政策総合研究所、土木研究所、北陸地整、外部講師

人 数:72名(うち地方公共団体職員47名:受講率65%)

時 期:橋梁初級Ⅰ(西部) H28.5.17～5.20(地公体:27名/30名)

橋梁初級Ⅰ(東部) H28.5.10～5.13(地公体:9名/14名)

トンネル(新潟) H28.7.13～7.15(地公体:4名/11名)

橋梁初級Ⅱ(新潟) H28.6.28～7.1(地公体:7名/17名)

目 的:地方公共団体の職員の技術力育成のため、点検要領に基づく点検に必要な知識・技能等を取得するもの



5月20日橋梁初級Ⅰ(西部)点検実習

②メンテナンス講習会:橋梁・トンネル【実施】

対 象:地方公共団体職員及び直轄職員

講 師:各県道路メンテナンス会議(石川県、富山県、金沢・富山河国)

人 数:63名(うち地方公共団体職員63名:受講率100%)

時 期:土木技術職員研修(富山県)H28.8.30(地公体:38名)

橋梁点検診断研修(金沢河国)H28.9.29(地公体:11名)

トンネル点検講習会(富山河国)H28.11.17(地公体:14名)

目 的:地方公共団体職員の技術力向上の支援を目的



橋梁点検診断研修(9/29 石川県)

地方公共団体におかれましては、研修生派遣のための予算確保等、ご協力の程宜しく申し上げます。

橋梁技術(初級Ⅰ)研修

<目的>

道路橋に関する基礎知識及び点検・診断に関する基礎知識の習得

<教科目>

道路構造物をめぐる今日的課題と今後の方針、点検に関する法令及び技術基準の体系、橋の構造の基本、鋼部材の損傷と診断、コンクリート部材の損傷と診断、定期点検の実施と記録、下部構造の損傷と診断、支承・附属物等の損傷と診断、附属物の定期点検要領概論、土工構造物の構造の基本、ジェット・大型カルバート等の定期点検要領概論、現地実習、達成度試験(学科、実技)

<対象>

道路系一般職員

実施時期 (定員各40名程度)

東部: 7月4日(火)～ 7月7日(金)

西部: 7月11日(火)～ 7月14日(金)

開催場所

東部: 北陸地整北陸技術事務所

西部: 石川県庁

H28東部参加者14名 (地公体9名)

H28西部参加者30名 (地公体27名)

橋梁技術(初級Ⅱ)研修

<目的>

道路橋の点検・診断の知識及び補修・補強の工法選択の判断に必要な知識の習得

<教科目>

道路橋をめぐる今日的課題と今後の方針、点検に関する法令及び技術基準の体系、橋の構造の基本、鋼橋の損傷、鋼橋の補修・補強、コンクリート橋の損傷、コンクリート構造物の補修・補強、既設橋の耐震補強設計、橋梁補修工事現地実習、非破壊検査技術 等

<対象>

道路系係長又はこれに準ずる職員

実施時期 (定員40名程度)

10月10日(火)～10月13日(金)

開催場所

北陸地整北陸技術事務所

(H28参加者 17名 (「地公体7名)

第2回 北陸橋梁保全会議（H28.10開催）

- 北陸独自の取り組みとして、橋梁保全に関する情報交換・発信のプラットフォームとして、産・学・官が連携し、橋梁保全に関する技術の向上、研鑽を目的として実施
- 平成25年より3年毎に実施しており、今回で2回目の開催

1. 開催概要

- 開催期間：平成28年10月25日（火）～10月26日（水）
- 開催場所：新潟グランドホテル
- 参加者数：988名（2日間計）
（内訳 国116名、県90名、市町村79名、
高速道路会社76名、学校関係者34名
法人139名、一般企業454名）
- 主催：北陸橋梁保全会議実行委員会
- プログラム

◇基調講演

講演者 東京都市大学学長 三木千壽氏
演題『道路構造物の経年劣化の現状と課題』

◇報文発表

60編

◇パネルディスカッション

テーマ『維持管理と人材育成』



開会挨拶
（近藤実行委員長）



祝辞
（寺田新潟県副知事）

2. 発表状況

◇基調講演



東京都市大学学長
三木千壽氏

演題『道路構造物の
経年劣化の現状と課題』



要旨

- ・社会インフラの老朽化問題
- ・笹子トンネルの事故とその後の動き
- ・米国と日本の現状比較、米国の対応
点検と診断の実態とあたらしい技術を紹介

◇報文発表 60題



◇技術展示 28ブース



◇パネルディスカッション



座長と6人のパネラー

テーマ：維持管理と人材育成

座長：丸山久一氏（長岡技科大 名誉教授）

パネリスト：星野道路保全企画官

山ノ内久氏（新潟県土木部）

高橋昌芳氏（新潟市土木部）

藤原保久氏（PC建設業協会）

本間順氏（日本橋梁建設協会）

近藤治氏（建設コンサルタツ協会）

要旨

- ・橋梁の供用年数を決定し（目標100年）、補修、補強、解体撤去の時期を的確に判断すること
- ・維持管理の現状、現場で直面する課題、人材育成のとりくみ等について紹介